

2024年版「グリーン・デスティネーションズ アワード」で 香川県の小豆島と愛媛県大洲市がシルバーアワードを受賞

(ブランディング)

10月8日(火)、持続可能な観光の国際的な認証機関である「グリーン・デスティネーションズ(以下、GD)」(本部:オランダ)が実施する、持続可能な観光地域づくりに取り組む地域を表彰するアワード(※1)で、香川県の小豆島(土庄町、小豆島町)と愛媛県大洲市の2地域が、四国初の「シルバーアワード」(※2)を受賞しました。これを受け、受賞2地域と当機構が共同記者発表を実施しました。

小豆島、大洲市ともに、審査項目の「文化と伝統」と「社会福祉」での持続可能な取り組みが高く評価され、同アワードの受賞となりました。今回、シルバーアワードを受賞したことにより、受賞の証であるロゴマークの活用やグリーン・デスティネーションズのホームページ上での掲載などが可能となり、世界的に関心が高まるサステナブルツーリズムの日本の先進地として認知度向上につながる事が期待されます。

※1 GDアワードに申請する観光地は、グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会(GSTC)の認定を受けたGD基準に基づいて審査され、そのスコアに応じてブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナの各賞、そしてサティファイド(GSTC認証)を受けることができます。

※2 世界の61地域が各アワードを受賞、11地域が認証(GSTC認証)を取得(2024年10月現在)。
アワードの受賞は、日本からは今回の受賞を含めて5地域が受賞しており、うち2地域が四国の小豆島と大洲市。

(実施日) 2024年10月8日(火) 15:30~16:40

(実施場所) サンポートホール高松 54会議室(香川県高松市)

(記者発表内容)

- ・GDが実施する表彰制度「TOP100選・アワード」の概要説明
- ・小豆島及び大洲市における持続可能な取り組みの内容 など

(登壇者) ※敬称略

香川県土庄町

町長 岡野 能之

香川県小豆島町

町長 大江 正彦

(一社)小豆島観光協会

会長 堀川 満弘

愛媛県大洲市

市長 二宮 隆久

(一社)キタ・マネジメント

代表理事 高岡 公三

国土交通省四国運輸局

観光部長 鎌倉 崇

(一社)四国ツーリズム創造機構 代表理事 半井 真司

(機構参加者) 桑村本部長、松本統括副本部長 ほか3名



<小豆島シルバーアワード>



<大洲市シルバーアワード>



<記者会見の様子:受賞者らで記念撮影>

当機構では、持続可能な観光の推進による「四国ブランドの確立」というビジョン実現に向け、2022年7月に自治体やDMOとともに持続可能な観光の推進組織「四国『持続持続可能な観光』推進ネットワーク」を立ち上げ、取り組みを進めております。引き続き、四国が持続可能な観光の先進地域となるよう、関係団体と連携して取り組みを進めてまいります。

大坂・関西万博に向けた「観光PRブース」のオープニングセレモニーに出席 関西国際空港の国際線・国内線到着ロビーでPR活動を実施

(ブランディング)

10月11日(金)、大坂・関西万博に向けた「観光PRブース」が関西国際空港の第1ターミナルビル1階の国際線・国内線到着フロアに開設され、そのオープニングセレモニーに出席しました。この観光PRブースは、来年4月に開幕する大阪・関西万博に合わせて、多くの国内外の旅行者が利用する関西国際空港で万博開催の機運を高めながら、関西をはじめとする西日本各地への広域周遊観光を促進するために、国土交通省近畿運輸局、関西エアポート(株)、(一財)関西観光本部、(一社)関西イノベーションセンター、日本電信電話(株)が共同で運営するものです。

観光PRブースでは、関西の魅力や観光情報を提供する「関西広域デジタルマップ」の設置のほか、大型ビジョンによる関西、山陰、せとうち、四国のPR動画の投影、日本電信電話(株)が開発した映像・音声・振動で観光地を体験することができる「バイプロスケープ(触覚風景)」が4装置設置され、疑似体験することができます。PR動画とバイプロスケープの選定は、(一財)関西観光本部、(一社)山陰インバウンド機構、(一社)せとうち観光推進機構、当機構が連携協定を締結し推進する「Greater WEST JAPAN」の協力団体である関西エアポート(株)のご提案で、4つの広域連携DMOの内容となっています。

バイプロスケープは、各DMOが撮影場所を1ヶ所選定(那智勝浦(和歌山県)、岩見神楽(島根県)、秋吉台(山口県)、かずら橋(徳島県))し、実際にスタッフが現場で撮影したことで、リアリティのある疑似体験が可能となっています。

オープニングセレモニーでは、共同取組者として、(一社)山陰インバウンド機構、(一社)せとうち観光推進機構、当機構をご紹介いただきました。

また、セレモニー終了後には、各DMOと関西エアポート(株)の職員が、関西国際空港に到着された訪日客の方々に、各DMOが用意した英語ガイドマップをまとめて配布し、西日本のPRを行いました。

今後も、関係団体と連携しながら、大阪・関西万博を契機とした誘客の拡大と西日本そして四国を周遊していただけるよう取り組んでまいります。

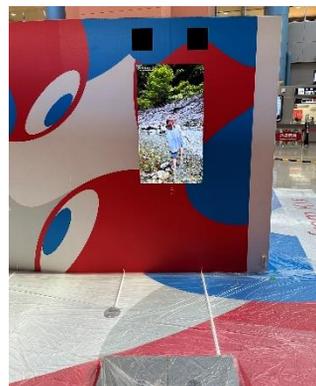
(実施日時) 2024年10月11日(金) 10:30~

(実施場所) 関西国際空港 第1ターミナル1階 国際線・国内線到着フロア(大阪府泉佐野市)

(機構出席者) 松本統括副本部長 (ガイドマップ配布) 松本統括副本部長、佐伯マネジャー



<オープニングセレモニーの様子>



<バイプロスケープ①>



<バイプロスケープ②>

「四国『持続可能な観光』推進ネットワーク」第8回会議を開催

(ブランディング)

10月23日(水)、徳島県上勝町で「四国『持続可能な観光』推進ネットワーク」の第8回会議を、対面とオンラインのハイブリット方式で開催しました。会議では、今年度取り組んでいる事業の進捗報告に加え、参画団体である徳島県上勝町と今年度の「グリーン・デスティネーションズ アワード」でシルバーアワードを受賞した香川県の小豆島、愛媛県大洲市における取り組み内容の事例紹介等を行いました。 次ページへ続く

また、8月に本推進ネットワークで実施した「GSTCサステナブルツーリズム研修」に関して、修了テストの受検・合否結果の状況とJSTS-Dロゴマーク取得に向けた意見交換を行いました。

会議後には、上勝町のご協力で同町が取り組む「ゼロ・ウェイスト」に関する取り組みについて、「上勝町ゼロ・ウェイストセンター」などの視察を行いました。

(実施日) 2024年10月23日(水) 13:30~17:00 ※会議は15:30まで

(実施場所) 会議：福原ふれあいセンター多目的ホール

視察：上勝町ゼロ・ウェイストセンター (いずれも徳島県上勝町)

(参加者) ネットワーク会員16団体ほか7団体(※)、31名

※ アドバイザー：四国運輸局

オブザーバー：徳島県、愛媛県、愛南町、(株)阿波銀行、(株)伊予銀行、(株)四国銀行

(機構出席者) 桑村本部長、竹内チームマネジャー、井上マネジャー、大上マネジャー



<会議の様子>



<視察の様子>



<視察時の集合写真>

「サイクリングしまなみ2024」にPRブースを出展

(ブランディング)

10月26日(土)、27日(日)の2日間、瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2024」のイベント会場に、四国4県と当機構などで構成する「サイクリングアイランド四国推進協議会」がPRブースを出展しました。

PRブースでは、「四国一周1,000kmサイクリング」や四国各県のサイクリングコース、四国の観光情報をサイクリストをはじめとする来場者にPRしました。PRを行うなかで、既に四国一周を2回された方や、海外から参加されたサイクリストの方々にもお会いするなど、サイクリングの聖地の「しまなみ」や四国に注目をお願いすることができました。

引き続き、サイクリングアイランド四国の実現と四国への誘客拡大に向けて取り組んでまいります。

(実施日時) 2024年10月26日(土)、27日(日)

(実施場所) みなと交流センターはーばりー (愛媛県今治市)

※イベント会場

(大会出走者数) 3,446人

(機構参加者) 鎌田チームマネジャー

井上マネジャー、佐伯マネジャー



<PRブースの様子>

「日本地域コンテンツ大賞2024」で 当機構が制作した動画がデジタル部門（動画・WEB）最優秀賞を受賞（ブランディング）

10月28日（月）、一般社団法人日本地域コンテンツ推進協会（JNSCA）が主催する「日本地域コンテンツ大賞2024」の授賞式があり、昨年度に当機構が制作したアドベンチャートラベルに関する観光PR動画「Discover the wonders of SHIKOKU」がデジタル部門（動画・WEB）で最優秀賞を受賞しました。

これは、同部門に応募のあった54媒体のなかで最も優秀であった作品に贈られる賞で、当機構では、2022年の「THE FACE OF SHIKOKU」での大賞受賞に引き続き、2回目の受賞となります。審査委員からは、『優れた映像作品は言葉による説明が無くとも一見するだけでメッセージを理解することが出来る。この作品はそれを見事に実現している。グローバルメディアを利用した映像表現によるPRではこの点が特に重要となるだろう。近年YouTubeでは多数の観光名所の案内動画がアップされているが、この作品はそれらの中でも特に優れた作品と言える。』との評価いただくことができました。

当機構では、今回の動画を含め、観光PR動画を活用しながら四国の魅力発信と誘客を続けてまいります。

（開催日）2024年10月28日（月）

（開催場所）学士会館（東京都千代田区）

（機構出席者）桑村本部長、清水CMO

デジタル部門 最優秀賞



DISCOVER THE WONDERS OF SHIKOKU
~WHERE YOU CAN FIND YOUR TRUE SELF~

一般社団法人四国ツーリズム創造機構



<機構職員の受賞喜びの様子>



動画はこちらから
視聴いただけます



<受賞動画「Discover the wonders of SHIKOKU」>



<受賞後の記念撮影の様子>

四国4県のタウン誌HP上に 当機構HPに遷移するバナーを設置いただきました

(ブランディング)

現在、四国4県のタウン誌と当機構では、四国の効果的な情報発信の取り組みの一環として、四国内の多種多様なイベント情報を発信するため、当機構HPのイベントページ上段に各タウン誌のイベント紹介ページに遷移するバナーを設定しています。この度、各タウン誌のHPをご覧いただいている方にも、四国の観光情報を訴求していくために、各タウン誌HP上に当機構HPに遷移するバナーを設置していただきました。

<提携タウン誌運営会社>

- 徳島県：(株)あわわ
- 香川県：(株)ナイスタウン
- 愛媛県：(株)エス・ピー・シー
- 高知県：(株)ほっとこうち

当機構では引き続き、四国4県のタウン誌との連携など、効果的な四国の情報発信を図りながら、四国への誘客拡大を図ってまいります。



<当機構HP上でのタウン誌バナーの掲載>



<タウン誌HP上で掲載いただいた当機構のバナー>

「四国JALパック会 首都圏研修」に参加

(マーケティング)

10月2日(水)、日本航空(株)の本社で「四国JALパック会 首都圏研修」が開催され、同会の会員企業の皆さまと一緒に参加しました。例年、当機構が実施する四国観光商談会の前後で開催されている研修であることもあり、当機構の会員さまからも多く参加されていました。

第1部では、航空評論家で元日本航空機長の小林宏之氏による「航空安全とトップの危機管理」と題した特別講演、日本航空ソリューション営業本部による「宿泊業界におけるサステナブルツーリズムを推進するソリューションについて」の説明、「JALオペレーションセンター(※)」の見学が行われました。

また、第2部では情報交換会が開催され、四国誘客に向けた積極的な意見交換が行われました。

(開催日) 2024年10月2日(水)

(開催場所) 日本航空(株)本社(東京都品川区)

(参加者) 当機構会員さまの四国JALパック会会員22名ほか

(機構参加者) 桑村本部長、松本チームマネジャー

※「JALオペレーションセンター」は、24時間365日、国内外を飛行する全ての日本航空便の運行を集中管理する、空の安全に不可欠な中枢組織です。



<第1部の特別講演の様子>



<四国JALパック会宮崎会長の挨拶>

「四国観光商談会2024」（東京、大阪）を開催

（マ=写真シグ）

「四国観光商談会2024」を、10月3日（木）に第一ホテル東京で、同月9日（水）にホテルグランヴィア大阪で開催しました。この商談会は、四国への更なる誘客に繋げるために、旅行会社や運輸会社などを招待して、四国の観光に関する最新情報の提供や、四国の観光事業者との関係強化を目的に、例年、東京と大阪の2会場で開催しているものです。今年度も昨年度と同様、四国4県などからの旬な観光情報のプレゼンテーション、旅行会社と四国の観光事業者との商談会、レセプションの3部構成で実施し、特に第2部の商談会では、旅行会社をはじめ訪日関連事業者やメディア関係など数多くの事業者さまにご参加いただいたことで、対面での熱のこもった商談を実施することができました。また、第3部のレセプションでは、観光庁の長崎観光地域振興部長に挨拶をいただき（東京会場のみ）、四国4県と四国旅客鉄道（株）、本州四国連絡高速道路（株）からの地酒やご当地ソフトドリンクの提供に加え、四国自慢の食材を使用した料理を挟みながら、交流と親睦を深められました。訪日外国人観光客の急速な回復に伴い、明るい兆しがみえている観光業界の復興と更なる四国への誘客拡大に向けて、引き続き、当機構では商談会をはじめとした各種事業を実施してまいります。今後とも、ご指導ご鞭撻とご協力の程、

よろしく願いいたします。

当機構では、SDGsや持続可能な観光の推進への取り組みの一環で、本商談会は「グリーン電力証明書」を保有する施設で開催しています。



（実施日／実施場所）

2024年10月3日（木）／第一ホテル東京（東京都港区）

2024年10月9日（水）／ホテルグランヴィア大阪（大阪府大阪市）

（機構参加者）半井代表理事、桑村本部長 ほか10名 ※両会場合計

（参加者数）

東京会場	第1部		第2部		第3部	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
旅行会社	32	100	36	111	33	133
会員	43	65	55	80	49	70
協賛会員・顧問	6	22	6	15	6	20
運輸会社	10	53	3	6	11	60
合計	91	240	100	212	99	283

大阪会場	第1部		第2部		第3部	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
旅行会社	19	64	20	53	22	67
運輸会社	6	30	3	10	6	37
会員	37	52	51	70	39	55
協賛会員・顧問	6	22	6	14	6	22
合計	68	168	80	147	73	181

第1部：プレゼンテーション、第2部：商談会の様子



<プレゼンテーション（東京）>



<商談会（東京）>



<プレゼンテーション（大阪）>



<商談会（大阪）>

第3部：レセプションの様子（東京）



<挨拶：長崎 観光地域振興部長>



<乾杯：JTB 山北 代表取締役社長>



<中締め：日本旅行 岡本 ツーリズム事業本部長>

第3部：レセプションの様子（大阪）



<挨拶：半井 代表理事>



<乾杯：日本旅行 関 関西・北陸エリア代表>



<中締め：JTB 北村 西日本エリア広域代表>

「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット2024」に出席

(マーケティング)

10月7日（月）から10日（木）の4日間、「Adventure Travel Trade Association (ATTA)」が主催する、アドベンチャートラベルの世界最大のイベント「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット (ATWS)」がパナマで開催されました。当機構はJNTOが設けたジャパンラウンジ内の四国ブースで、四国遍路の白装束を身に着け、四国のアドベンチャートラベルの魅力を発信しました。また、併せて実施されたマーケットプレイス（商談会）では、14社のバイヤーと商談を実施したほか、メディアコネクト（メディアとの商談会）では、多くのメディアと商談を行い、四国への取材を働きかけました。引き続き、今回繋がりを得ることができたバイヤーやメディアへのフォローアップを行い、アドベンチャートラベルをフックとした、四国へのインバウンド誘客を推進してまいります。

(開催日時) 2024年10月7日（月）～11日（木）

(開催場所) パナマコンベンションセンター（パナマ）（機構出席者）なし ※委託事業者が出席



<四国ブースの様子>



<四国ブースでの商談の様子>



<マーケットプレイスでの商談の様子>

上海市政府主催「上海観光PRセミナー」に出席

(マーケティング)

10月21日（月）、高松空港振興期成会（事務局：香川県空港振興課内）のご紹介で、上海市政府主催の「上海観光PRセミナー」に出席しました。本セミナーは、高松空港国際線「高松－上海線」の利用促進の一環で、高松空港からの誘客促進に向け、四国の観光事業者を対象に開催されたものです。当機構では、定期的に同市で観光セミナーを開催しており、今回出席された現地の旅行会社などの方々と名刺交換を行うことで、両地域双方向の誘客促進として、今後に向けた交流が深められました。

(開催日時) 2024年10月21日（月）13:30～

(開催場所) JRホテルクレメント高松（香川県高松市）

(機構出席者) 清水CMO、鎌田チームマネジャー



<セミナーの様子>

アクアホテル小豆島リゾート オープングレセプションに出席

(その他)

この度、香川県小豆島の北東の閑静なエリアで新たに「アクアホテル小豆島リゾート」がオープンしました。10月5日（土）、オープンに先立って開催されたオープングレセプションに出席しました。

(開催日) 2024年10月5日（土） (開催場所) アクアホテル小豆島リゾート (香川県小豆島町)
(機構参加者) 神野副本部長



<ホテルの外観>



<客室の内観①>



<客室の内観②>

観光庁「地域観光“新発見”事業」に採択された「瀬戸内アイランドホッピング事業」における視察に参加

(その他)

10月15日（火）、16日（水）の2日間、香川県の小豆島で実施された、観光庁「地域観光“新発見”事業」に採択された「瀬戸内アイランドホッピング事業」における視察に参加しました。本事業は、「小豆島を拠点としたアイランドホッピング」をテーマに、機構会員でもある小豆島交通（株）が実施主体となって取り組んでいるものです。本事業は、小豆島の伝統的な祭りの担い手が不足していることを背景に、「祭りに参加できる旅行商品」として旅行商品造成ができないかという視点から、東京や大阪の旅行会社に視察いただき、商品化に向けた意見交換などを行うことを目的に実施されました。今回の視察では、15日に土庄町の富丘八幡宮例大祭で実施される太鼓台の担ぎ上げ奉納を、16日に小豆島町の亀山八幡宮例大祭で実施される、船に積み込んだ太鼓台を浜に陸揚げする伝統行事「オシコミ」を視察しました。

(視察日時) 2024年10月15日（火）、16日（水）

(視察場所) 富丘八幡宮及び亀山八幡宮の周辺ほか（香川県土庄町、小豆島町）

(視察参加者) 東京及び大阪の旅行会社16社20名

(機構参加者) 桑村本部長 (※)、松本統括副本部長 (※)、松本チームマネジャー (※) ※意見交換会のみ
竹内チームマネジャー



<富丘八幡宮例大祭の様子>



<亀山八幡宮例大祭の様子①>



<亀山八幡宮例大祭の様子②>

「第24回 日本・スペイン・シンポジウム in 香川」の歓迎レセプションに出席

(その他)

10月22日(火)、翌日23日(水)に開催される「第24回 日本・スペイン・シンポジウム in 香川」(主催:外務省、香川県、高松市)に先立って開催された歓迎レセプションに出席しました。本シンポジウムは、日本、スペイン両国の相互理解と関係強化を図ることを目的に開催されたもので、今回の第24回シンポジウムは、香川県での開催となりました。本歓迎レセプションは、香川県での開催となったことを記念して、香川県MICE誘致推進協議会(会長:池田香川知事)の主催でシンポジウムの参加者などを招待して開催されました。

(開催日時) 2024年10月22日(火)
 (開催場所) JRホテルクレメント高松(香川県高松市)
 (機構参加者) 桑村本部長



<池田香川県知事挨拶>

今月のオウンドメディア情報等

(清水CMOからの情報)

今回は、当機構で昨年度から実施している「To B向け情報発信事業」のうち、海外の旅行会社やメディアへのメールマガジン配信を紹介します。

【概要】過去に商談会等で名刺交換を行った海外旅行会社・メディアに対して、メールマガジンを配信。

【目的】四国のツアー造成やメディア掲載のきっかけづくり、配信先との長期的な関係の構築。

【配信数】459件(※)

※英語圏 215件、繁体字圏(台湾) 137件、簡体字圏 42件、東南アジア圏(タイ・シンガポール) 65件

【ターゲットごとの配信内容等】

英語圏:四国の認知向上を目的に、定番の観光地情報、遍路情報、ホテル飲食店リストを配信。

繁体字・簡体字圏:四国への興味関心の向上を目的に、テーマ性のある情報、ホテル飲食店リストを配信。

東南アジア圏:四国の認知度向上を目的に、四国のインセンティブ(企業や工場の視察など)情報(タイ向け)、レンタカー観光(シンガポール向け)などSIT(※)に役立つ情報、ホテル飲食店リストを配信。

※Special Interest Tour…特別な目的に絞った旅行

【配信内容】現在、累計20通を送信。下記URLまたは二次元コードからご覧いただけます。

https://linktr.ee/tourism_shikoku_letter20241031



【配信結果(累計ベース)】

	開封率(%)	機構HPへのクリック率(%)
英語圏	57.4	9.3
繁体字圏	38.7	9.7
簡体字圏	35.6	16.2
東南アジア圏	47.6	28.2

<分析結果>

- ▶ 開封率は英語圏が高い。
- ▶ 一方、機構HPへのクリック率(※1)は東南アジア圏が高い。
- ▶ 当機構がメルマガで使用しているサービス(※2)における、2023年度の実績結果と比較して、業種別平均メール開封率(観光業27.59%)、地域(国)別平均開封率をとともに上回っている。

※1 開封後、メルマガ上のURLリンクから機構HPに遷移した率。

※2 [Benchmark社](#)のサービスを利用。

【今後について】

東南アジア圏でクリック率などが良い結果となったのは、コロナ収束後に、商談会などの名刺交換で取得したアドレスがほとんどであるため、送付元の身元が分かっていることから安心して閲覧いただけたことが考えられます。今後も、旅行博への出展などの現地セールスを通じて、お互いの顔がわかる関係構築に注力してまいります。

